専大スポーツ
No.265
●「専修大学」体育会ホームページ●
http://www.acc.senshu-u.ac.jp/taiikukai/index.html

ラグビー

OB・現役混合の四大学対抗戦で1点差守り勝利

▲　村田さんを胴上げし、勝利を祝う

ラグビーの「全日中法専」四大学対抗戦が3月20日、東京・秩父宮ラグビー場で行われた。今年の相手は全日大。先日、現役を引退した村田亙さん（平2文）をキャプテンに挑んだ全専大は、前半は相手を無得点に抑え、後半に追い上げられたものの、ゴールライン前のしぶとい守備でなんとか1点差を守りきり、13―12で勝利した。

現役ではロックの鳥井勇希（商2・正智深谷高）がフル出場したほか、6人の選手が先輩とともに健闘。悪天候の中、つかんだ今年最初の勝利は、大きな励みとなった。（松本　かおり・文3＝写真も）

東京卓球選手権

男子複　徳増・森田組が準優勝

▲　息の合ったコンビの徳増（左）・森田組＝撮影・田口能成

東京卓球選手権が3月12日から16日まで、渋谷区の東京体育館で行われ、男子ダブルスで徳増信弥（経済2・杜若高）・森田翔樹（商2・青森山田高）組が準優勝を果たした。

徳増は「ここまでいけると思っていなかったのでうれしい。大会を通して自分たちから攻められたこと、パートナーとのコンビネーションがさえていたことがこの結果につながった」、森田は「準優勝できたことは良かったが、あくまで2位。悔しい思いもある」とそれぞれの思いを話した。

その他、女子シングルスで高瑜瑶（商1・秀光高）、女子ダブルスで牛茜（経済3・本庄第一高）・高瑜瑶組、杉本枝穂（文3・青森山田高）・堀部紗代（文3・土佐女子高）組がそれぞれベスト16入りを果たした。（馬場　雄也・ネット情報2）

鶴林・エンドーペロー号優勝

東京八大学純馬術競技大会

東京八大学純馬術競技大会が3月28日から30日まで、JRA馬事公苑で開かれ、総合馬場馬術で鶴林舞（商1・市立前橋高）・エンドーペロー号が優勝した。

春らしい穏やかなコンディションの中、1年次最後の大会で鶴林が華麗に舞った。満開の桜をバックに人馬一体となって見る者を引き付けた。

「エンドーペローとは初めてペアを組んだので不安だったが、ベテランで優秀な馬が自分を引っ張ってくれた。馬の素質は十分なので、自分がしっかりできていたらもっと良い騎乗ができたと思う」と競技を振り返った。

また、中障害飛越競技で柳原大徳（商2・各務原西高）・ロッキンジー号が5位、団体では総合馬場馬術競技で2位、馬場馬術競技で3位に入賞した。（久田　照喬・商2）

関東地区大学準硬式野球

惜しくも準優勝

中央大にサヨナラ負け

▲　今大会２勝の田中

関東地区大学準硬式野球選手権が4月11日まで行われ、専大は惜しくも準優勝となった。

専大は3回戦から登場し足利工大、日大理工学部に勝利。準々決勝は法大に苦戦したものの、延長13回に2点を取り、5―3で破った。続く準決勝は昨年日本一の桜美林大。先発のルーキー川田展行（経営1・桐生一高）が被安打2に抑え、9―0で圧勝。中央大との決勝は、2―3でサヨナラ負けを喫した。

今大会2勝を挙げた田中暁（経営3・鳴門工高）は「全日本大学への望みはあるので、次に向けて頑張ります」と話し、林真吾主将（経営4・観音寺一高）は「一つひとつのプレーの大切さを意識して練習に取り組み、リーグ戦は優勝を目指して頑張りたい」と語った。（佐山　竜太・経済2＝写真も）

東都大学野球春季リーグ＜2部＞

開幕カード連勝

山崎が満塁ホームラン

▲　２試合連続でホームランを放った山崎

4月9日から神宮第2球場で東都大学野球春季リーグ（2部）が開幕し、専大は國學院大との開幕カードに連勝し、勝ち点を挙げた。

【1回戦】2回、5番山崎大志（経営3・海星高）の本塁打で先制すると、3回にも山崎が1、2塁間を抜けるタイムリーを打ち、2点目。7回には吉成徹（経営4・文星芸大附高）の安打からチャンスを作り、1番山田晃典（経済4・金沢高）の二塁打で3点目が入った。投げては長谷川俊（商4・高陽東高）が完投し、3―2で勝利した。長谷高成泰監督は「4年次生中心に良くやってくれた」と話した。

【2回戦】4回に山崎の満塁本塁打が出るなど10得点を叩き出し、守っては4投手による継投で、10―3で勝利した。（佐山　竜太・経済2＝写真も）

サッカー　関東大学リーグ

1部開幕戦で手応え

王者　早大に完勝

▲　中盤でチャンスを演出した小幡純平（商２）

関東大学サッカーリーグ戦が4月5日に開幕、今年も長いシーズンの始まりを告げた。2年ぶりに1部に戻った専大は、開幕戦で昨季リーグ覇者の明治大を相手に2―2と堂々の戦いぶりを見せると、続く第2戦は昨年度の全日本大学サッカー選手権王者・早稲田大との戦いを3―2で制し、今季初勝利を挙げた。

源平貴久監督は「チームには手応えを感じている。攻撃では2部得点王の荒田（智之＝平20商、水戸ホーリーホック）という軸が抜けたが、それを全員で埋め、どこからでも点の取れるチームにしたい。復帰1年目の今季は勝ち点30、勝率5割が目標」と語った。

立て続けに優勝候補を苦しめ、現在4位と波に乗っている専大。この調子を維持して、優勝争いに絡んでいってほしい。（馬場　雄也・ネット情報2＝写真も）

国際大会出場選手

◇アメリカンフットボール部
南部　敦史（経営1・駒場学園高）U-19グローバルチャレンジボウル（3月22日＝日本・川崎市）にラインバッカーとして出場。試合は24―14で日本代表がアメリカ代表に勝利。

◇バドミントン部
井上　春奈（商3・埼玉栄高）
田村　千秋（文2・昭和学園高）世界学生選手権（5月5～10日＝ポルトガル・ブラガ市）

◇レスリング部
荒木田　進謙（経済2・光星学院高）アジアシニア選手権（3月15～20日＝韓国・済州市）
※フリースタイル120kg級日本代表として出場し、1回戦敗退。

※文中の学年は、3月31日までの大会は旧学年で、4月1日以降は新学年で表記しています。

体育会新入生歓迎会

北京五輪ボクシング代表　川内将嗣さんが講演

3月29日、恒例の体育会新入生歓迎会が生田キャンパスで行われた。加藤茂夫体育部長らが出席し、新入生の入学を祝った。今回は北京五輪ボクシング日本代表の川内将嗣（平20商）が講演し、後輩たちにエールを送った＝写真。（佐山　竜太・経済2）

専大スポーツ編集部

部員募集中！

私たち『専大スポーツ』編集部は体育会情宣局として、専大体育会各部の活躍を伝えることを目的に月1回『専大スポーツ』を発行（「ニュース専修」に組み込み）しています。

おのおのが担当する部へ取材に行き、写真を撮り、記事を書きます。スポーツが好きな方、カメラに興味のある方、新聞記事を書いてみたい方など、興味を持った方は、木曜の昼休みにミーティングを開いていますので、第1学生自治会館2階にある部室へ足を運んでみてください。

問い合わせはEメール＝sensupo@mail.goo.ne.jpまで。また、専大スポーツweb（http://sensupo.blog11.fc2.com/）で、最新の試合結果をブログ形式で公開しています。（新海　城生・経済4）